中国知的財産権

ニュースレター

中国国際貿易促進委員会特許商標事務所

2022 年第 8 号（全 90 号）

2022 年 8 月 29 日

〒100031　中国
北京市西城区復興門内大街 158 号
遠洋大厦 10 階
TEL：+86-10-66412345
FAX：+86-10-66415678/10-66413211
E-MAIL: mail@ccpit-patent.com.cn

〒100-0004　日本
東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号
新大手町ビル 2 階 265 区
TEL: +81-3-6262-6643
FAX: +81-3-6262-6645
E-MAIL: Tokyo@ccpit-patent.com.cn

www.ccpit-patent.com.cn

目次

インテリジェント専利（特許・実用新案・意匠）検索・分析システムが正式に運用 . . . 2
『2021 年中国専利調査報告書』が公表 3
今年上半期の中国知的財産権関係統計データが公表. 4
AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報. 6

インテリジェント専利（特許・実用新案・意匠）検索・分析システムが正式に運用

先頃、インテリジェント専利検索・分析システム（以下、新システムという）が正式に運用を開始した。同システムは中国国家知識産権局の専利審査と検索システムのインテリジェント化プロジェクトの重要な構成要素であり、公衆に専利検索、専利分析、文献閲覧及びデータのダウンロードなどの高品質のサービスを提供するものである。新システムはこれまでの公衆向け検索システム（以下、旧システムという）の機能やデータを全面的に取り入れ、アップグレードしており、2021 年 12 月 31 日からの試行運用以降、安定した運用がなされており、利用者の意見や提案を踏まえて最適化、改良が図られてきた。現在は利用者数が増え続けており、利用者と業務は旧システムから新システムにスムーズに移行した。

新システムは 105 の国及び地区の専利データを収録し、通常検索、高級検索、出願人分析、技術分野分析など 11 の検索・分析方式と、ファミリパテントクエリ、引証クエリなど 8 つの補助ツールを提供しており、さらに専利検索と分析機能を 9 の言語バージョンで提供している。新システムは、中国国家知識産権局公式サイトの政府サービスの専利検索リンクから、またはアドレスバーに pss-system.cponline.cnipa.gov.cn を入力して利用することができる。新システムは専利データをさらに充実させ、検索機能を改良し、専利分析モデルを拡充した。

https://www.cnipa.gov.cn/art/2022/7/26/art_53_176815.html

『2021 年中国専利調査報告書』が公表

先頃、中国国家知識産権局が『2021 年中国専利調査報告書』（以下、『報告書』という）を公表した。データによると、現在中国では専利譲渡が活発化し、有効発明専利の産業化率が継続的に上昇し、産学連携によるイノベーションが著しい成果を収め、国内の知的財産権保護環境は安定し、改善している。

一、中国の有効発明専利の産業化率が安定的に上昇している。2021 年の中国発明専利の産業化率は 35.4%で前年より 0.7 ポイント増加した。直近 3 年間は上昇傾向にあり、直近 5 年間は 3 割以上で落ち着いている。イノベーションの主体としての企業は有効発明専利の産業化率が 46.8%に達し、前年より 1.9 ポイント増加した。企業規模別では、大・中・小型企業の発明専利産業化率はそれぞれ 47.1%、54.6%、47.7%に達し、いずれも前年よりやや上昇した。

二、産学連携が専利の産業化水準の向上を促進している。調査によると、産学連携による発明専利のなかで、大学を第一専利権者とする専利の産業化率は 22.8%に達し、大学平均の 7 倍以上にもなる。科学研究機関を第一専利権者とする産学連携による発明専利の産業化率は 25.8%で、科学研究機関の平均水準を 10 ポイント上回った。データによると、産学連携による発明専利は産業化後、その平均収益が企業平均を 32.5%上回り、産学連携が経済効果の向上に重要な役割を果たしている。

三、中国の知的財産権保護環境が全体的に改善されている。2021 年に専利権を侵害された後に措置を講じて権利を保護した中国企業は 76.4%で、前年より 2.5 ポイント増え、専利権者である企業が専利権侵害対応に積極的になった。裁判所が命じた賠償額や訴訟・法廷審判で定めた和解金額が 100 万元以上の中国専利権侵害訴訟は 16.3%で、前年より 9 ポイント増え、中国での知的財産権侵害の代償が高まり続いている。

国家知識産権局戦略企画部の責任者によると、「『第 14 次 5 カ年計画』国家知識産権保護・運用計画」にある「知的財産権譲渡の効果に関する調査の強化」の作業計画を実行するため、2021 年の専利調査は調査プランをさらに改善し、専利の産業化率とその収益状況、専利保護などに焦点を合わせて分析した。『報告書』は毎年公表されており、今回は 6 回目で、関連政策決定に強力なデータ面でのサポートを提供するほか、公衆が中国の知的財産権事業の発展状況を理解する上で重要な入り口となっている。

https://www.cnipa.gov.cn/art/2022/7/14/art_53_176558.html

今年上半期の中国知的財産権関係統計データが公表

中国国務院新聞弁公室（The State Council Information Office）が 7 月 12 日に北京で記者会見を開き、2022 年上半期の中国知的財産権関係統計データを公表した。データによると、今年 6 月末現在の中国の発明専利有効数は 390 万 6000 件、有効な登録商標は 4054 万 5000 件、承認された地理的表示製品専用標識を使用できる市場主体は 1 万 9000 万社以上、集積回路配置図設計の登録申請は累計 7 万 4000 件であった。現在中国の知的財産権は安定的に発展しており、質と量はいずれも向上している。

データには主に五つの特徴がある。

知的財産創出のトレンドが安定している。上半期は新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、国内の専利、商標、集積回路配置図設計などの知的財産権関連出願が一時的に減少したものの再び増加に転じ、全体的には安定している。上海を例にとると、6 月の発明専利出願は先期の減少傾向から一転して前月比データが回復した。

国内企業のイノベーションが活気にあふれている。2022 年 6 月末で有効発明専利を保有する中国国内企業は前年同期比 20.3%増の 32 万 5000 社で、その有効発明専利は 210 万 7000 件、前年同期比 22%増となり、全国の平均増加率を 4.5 ポイント上回った。その中で、ハイテク企業、専業化・精細化・特色化・新規化した「小巨人」企業（ニッチ市場に力を集中し、イノベーション力が強く、マーケットシェアが大きく、中核・コア技術を保有し、品質や収益が高い企業をいう）の 15 万 5000 社が有効発明専利を同期比 23.4%増の 133 万 4000 件保有しており、その数は国内企業の 47.8%、有効発明専利全体の 63.3%を占めるという強いイノベーション力を見せている。

専利、商標の質権融資の包摂性という特徴が一層顕在化した。上半期、全国の専利、商標の質権による融資総額は 51.5%増の 1626 億 5000 万億元で、恩恵を受けた企業は前年同期比 68%増の 9760 社がとなった。このうち 1000 万元以下の包摂融資を受けた中・小型企業は 6951 社で、融資を受けた企業全体の 71.2%を占めており、前年同期比で 111.7%増加した。知的財産権の質権融資は小零細企業を強力にサポートし、包摂性が明らかに示された。

地理的表示製品の産業規模が拡大している。2022 年 6 月末で、地理的表示専用標識を使用できる市場主体 1 万 9000 社以上が承認され、前年同期より 6000 社以上増加した。地理的表示専用標識の改革試行は、地域が 12 省から 20 省に拡大し、製品は 1951 点に及び、国内地理的表示保護製品全体の 83.9%を

占めている。

新興技術分野での専利の保有が強化された。2022 年 6 月末で中国の国内有効発明専利数ランキングの上位 3 技術分野はコンピューター技術、測量、デジタル通信であり、それぞれ全体の 9.4%、7.6%と 6.8%を占めた。増加率が最も高かったのは情報技術管理方法、コンピューター技術および医療技術の三分野であり、それぞれ前年同期より 78.5%、32.3%、27.1%増加した。新興技術分野での専利保有の強化は、経済社会のデジタル化への転換をサポートし、人々の健康や日常生活にさらに恩恵をもたらしている。

https://www.cnipa.gov.cn/art/2022/7/13/art_53_176536.html

AI・IoT・ビジネスモデルの関連情報

紅旗 L4 ロボタクシーが
北京市自動運転道路テストライセンス試験に満点で合格

7 月 13 日、中国一汽インテリジェントネットワーク開発院 AI 研究所（一汽（南京）科技開発有限公司）が開発に参加した第二世代紅旗 L4 ロボタクシーが、北京市自動運転道路テストライセンス試験に満点で完璧に合格した。

テスト項目は高速道路、都市部、農村部の道路状況が混在する条件下でのポイントツーポイント自動運転シャトル車両の運用シーンを完全にシミュレートし、斜面やトンネルなどのさまざまな道路状況をカバーしている。さらに、北京-天津-河北地域の各種複雑な機種の信号機も含まれており、国内で最も科学的で、厳格で、複雑かつ包括的なハイレベルの自動運転試験である。現在、試験に合格し、道路テストライセンスを取得したのは全国で 16 の主体しかいない。

北京市『自動運転車両道路テスト能力評価の内容･方法』によると、一汽（南京）科技開発有限公司の紅旗 L4 ロボタクシーは、5,000 km の信頼性テスト、10 項目の安全性テスト、14 項目の基本性能テストおよび 97 項目の単一項目シーンテストを完了した後、7 月 13 日の午後、10 km の都市部、高速道路、農村部の混合道路条件下で、合計 60 のシーンの総合的能力評価テストを無事に完了し、北京市自動運転道路テストライセンス試験に満点で合格した。

今回のテストに参加した第 2 世代紅旗 L4 ロボタクシーは、量産型と共有のプラットフォームを採用し、L4 レベルの自動運転機能のニーズを満たすと同時に、他の L4 レベルの自動運転車と比べて大幅なコスト削減を実現している。第 2 世代の紅旗 L4 ロボタクシーをテスト車両として採用した中国一汽は、AEC 規格の量産型センサーを使用して T3 レベルのテストに参加した国内初の自動車会社でもある。

新しく開発された新紅旗電子・電気アーキテクチャ技術プラットフォーム FEEA3.0 から、L3 レベルを満たし、L4 レベルの自動運転に達し得る FME プラットフォームのリリースまで、中国一汽は 10.5km のインテリジェント道路を建設し、4 台の紅旗 E-HS3 L4 自動運転車を投入して、数万 km の安全運転を実現している。

http://jl.people.com.cn/n2/2022/0719/c349771-40044988.html

「スクリーンの IoT」がデジタル経済を活性化
BOE が第五回デジタル中国建設サミットに参加

第 5 回デジタル中国建設サミットが 7 月 23 日から 26 日にかけて、福建省・福州市で開催され、BOE（京東方、BOE Technology Group Co., Ltd.）がさまざまなデジタル経済応用シーンソリューションを公開し、「スクリーンの IoT」発展戦略がデジタル経済を活性化する成果を全面的に展示した。

BOE は、2021 年、IoT 時代に向けて「スクリーンの IoT」との開発戦略を打ち出した。すなわち、長年にわたって半導体ディスプレイの分野で蓄積してきたコア技術を最大限に活用し、デジタル時代における「スクリーン」のあらゆる産業機会をつかみ、スクリーンにより多くの機能を統合させ、より多くのモデルを作り、より多くのシーンで活用させ、テクノロジー、インテリジェント製造、エコロジーの三つの面から、中国のデジタル経済の発展を全面的に活性化しようとしている。

BOE は、IoT イノベーション技術の分野でブレイクスルーを続け、さまざまなインテリジェント端末製品に、生体認証、センシングインタラクション、AI などのインテリジェント機能を継続的に統合し、ウェアラブルデバイスや交通車載などのマルチモーダルの革新的なアプリケーションを開発した。BOE の次世代インテリジェントコックピットと AR 情報提示グラスは、現場で多くの来場者を魅了した。インテリジェントコックピットは、BOE が独自に開発した疲労運転検知、シートベルト検知、未成年者検知などの危険運転行為検知機能を備えており、アルゴリズムを通じてターゲット検知とドライバーの行動分類を実行し、危険運転行為をリアルタイムかつ正確に識別できる。検出されると、自動的に警報を発することができ、応答速度は 0.2 秒未満であり、「人－車両－道路－クラウド」間のインタラクションがよりスムーズで、豊富で、安全で便利になる。

デジタル経済を活性化する「スクリーンの IoT」の代表的な成果の集中展示として、今回のデジタル中国建設サミットでは、BOE はさらに 500Hz+超高速リフレッシュレート・ノート PC、288Hz 高速リフレッシュレート大型 8K TV、世界初公開の COG AM Mini LED ダイレクトディスプレイ製品などの最先端技術製品も公開した。その中で、500Hz+超高速リフレッシュレート・ノート PC と 288Hz 高速リフレッシュレート大型 8K TV は、それぞれ第五回デジタル中国建設サミットの「ハードコアテクノロジートップ 10」、「初出展成果トップ 10」を受賞した。

このほか、BOE は、スマートリテール、スマートファイナンス、インダストリアルインターネットなどのデジタル経済応用シーンのソリューションを現場で実演した。
http://fj.people.com.cn/n2/2022/0725/c181466-40052319.html

中国の AI 中核産業規模が 4000 億元超

7 月 26 日、工業・情報化部科技司の記者会見で、任愛光副司長が次のように紹介した。

中国の AI 中核産業規模は 4000 億元を超え、企業数は 3000 社を超えた。スマートチップやオープンソースフレームワークなどのコア技術が重要なブレイクスルーを達成し、スマートチップ、端末、ロボットなどの象徴的な製品のイノベーション能力が持続的に強化されている。

同時に、伝統産業のモデル転換・アップグレードが引き続き加速し、従来産業＋AI のモデル企業が数多く育成され、AI と実体経済の融合した新しいモデル、新しい方法が形成されている。インテリジェント製造分野では、AI 技術の使用により、製品検査と設備利用の効率が大幅に向上した。インテリジェント医療分野では、AI 技術が医療従事者の仕事の負担を軽減させ、医療設備の診断の正確性とサービス利便性を向上させ、現在、中国では 40 枚余りの AI 医療器械三類証が承認されている。

任愛光副司長によると、工業・情報化部は AI と実体経済の深い融合に焦点を当て、三つの作業を展開している。

第一は、技術イノベーションの促進である。優れた企業を発見・育成し、優れた製品の製造を競わせ、国家医薬品監督局と協力して AI 医療機器の特別応募作業を行い、産業のリソースと積極性を動員して、R&D－産業－アプリケーションの「ファストトラック」を構築する。スマートセンサーやコネクテッドカーなどの製造業イノベーションセンターを設立し、共通技術の R&D と産業化を強化する。大学と企業のコンソーシアムによる共同イノベーションを奨励している。

第二は、エンパワーメントによるアプリケーションを促進し、産業技術ベースの公共サービスプラットフォームの構築を強化し、産業サービス能力を引き続き改善する。アプリケーションシーンを積極的に掘り起こし、活用することで、AI 製品の有効なアプリケーションとイテレーションを促進する。また、中小企業向けの AI 支援活動を組織・実施し、『中小企業に活力を与える AI 技術製品の需給カタログ』を編集し、インテリジェント化を促進している。

第三は、包括的な産業エコロジーの構築である。5G 基地局、インダストリアルインターネットプラットフォーム、コンピューティングセンターなどの情報インフラストラクチャを構築し、業界のデータセットの構築・公開をサポートして、産業の発展基盤を強化する。国内開発フレームワークのソースコード

の公開を奨励し、ソフトウェアとハードウェアを統合し、上流工程と下流工程をリンクする産業エコシステムの確立を促進する。標準ガイダンスを強化し、AI 標準システムの構築を強化し、『国家インテリジェント製造標準システム構築ガイドライン』の編集を組織して、30 項目のインテリジェント製造国家標準を公布した。
http://fj.people.com.cn/n2/2022/0725/c181466-40052319.html